

# マンダリン オリエンタル 東京で愉しむ、 日本橋納涼怪談 2010



共催：芝居茶屋 新日屋

## 人間国宝の講談師による怪談噺で、晩夏の一夜を涼やかに過ごす。

江戸の粋と伝統が今も息づく街・日本橋のホテル、マンダリン オリエンタル 東京では、晩夏を彩る風物詩イベントとして毎年、『マンダリン オリエンタル 東京で愉しむ、日本橋納涼怪談』を開催しています。「怪談の貞水」として怪談を語らせては当代随一と称される講談師、一龍斎貞水師匠の日本の伝統話芸に特殊演出効果を加えた「立体怪談」と、マンダリン オリエンタル 東京のグランド ボールルームが誇る最新のオーディオビジュアル装置とのコラボレーションはまさに必見といえます。室内360度の壁面に忽然と現れる映像やサラウンドサウンド、闇の中に妖しく揺れる提灯のあかり……。もちろん、人間国宝の深みある話芸はなにより迫力満点です。今年の演目は「累(かさね)」。あまたの怪談噺の中でも特に怖い！と評判の伝説の実話です。会場にはバーカウンター(有料)もご用意しておりますので、6ツ星ホテルならではのラグジュアリーな雰囲気の中で、晩夏の一夜を涼やかにご愉しみください。



## 8月15日(日) マンダリン オリエンタル 東京で愉しむ、日本橋納涼怪談 2010

江戸情緒を肌で感じていただくために、ゆかたかきものでお越しいただいた場合はウエルカムドリンク一杯を無料でご提供いたします。

また、講談の後にディナーをお召上がりいただくプランもございます。お食事は、店内に竹が配された2階アトリウムのイタリアンダイニング「ヴェンタリオ」でのブッフェディナーか、38階からの夜景が見事なアジアンスパイアダイニング「ケシキ」でのコースディナーのいずれかをお選びください。江戸の夏に想いを馳せながら、ひと夏の思い出にどうぞ。

【日時】 8月15日(日) 16:00開場 16:30開演 17:30終了  
【場所】 マンダリン オリエンタル 東京 3階 グランド ボールルーム

【怪談入場料】 6,500円(消費税込)  
ゆかたかきものでご来場の場合はウエルカムドリンク一杯をサービス

【ディナー付】 12,000円(消費税・サービス料込)  
2階イタリアンダイニング「ヴェンタリオ」のブッフェディナー、または  
38階アジアンスパイアダイニング「ケシキ」のコースディナーを選択



**一龍斎貞水** 講談協会相談役、重要無形文化財保持者(人間国宝)。1955年、先代一龍斎貞丈に入門。1966年、真打ち昇進、六代目一龍斎貞水を襲名する。1975年芸術祭優秀賞を受賞。1976年、放送演芸大賞講談部門賞を、1999年、第13回下町人間庶民文化賞を受賞。2002年に重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。講談界初で寄席の世界では故・柳家小さん師、桂米朝師について3人目の認定。2003年、文京区区民栄誉賞を受賞。2003年には講談の普及、自己の研鑽、講談師の勉強会を目的に、湯島天満宮にて「講談・湯島道場」を開始。

\*ご予約には事前の銀行振込をお願いしております。  
\*上記写真はイメージです。  
\*右記以外にも、オンライン予約を「イープラス」にて承ります。  
<http://eplus.jp>

## 【ご予約・お問い合わせ】 芝居茶屋 新日屋内 日本橋納涼怪談事務局

Email: reservation@shinnichiya.com  
Telephone: 03-5652-5403 (平日 / 10:00~17:00)  
Facsimile: 03-5652-5404  
Address: 東京都中央区日本橋久松町13-3 木下ビル4階